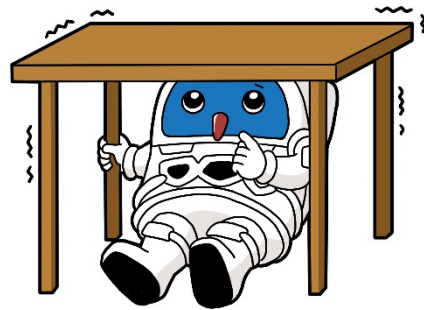


吾妻学園防災手帳

取扱説明書



「いざという時、大人にも子どもにも役立つものに」

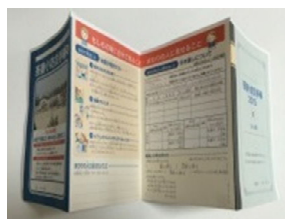
目次	ページ
内容	
本手帳の仕様	1
防災マップの使い方	2
手帳作成の目的	3
使用上の注意	3
学校防災手帳について	4
携帯のアイデア	4
学校防災手帳の使い方	裏面

発行：吾妻学園おやじの会
編集協力：吾妻小学校PTA、吾妻中学校PTA
つくば市教育局 教育総務課、
国土技術政策総合研究所

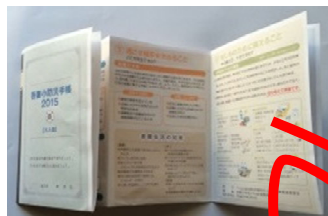
本手帳の仕様

災害時に役立つ情報と防災マップ
A3両面印刷の折り畳み式

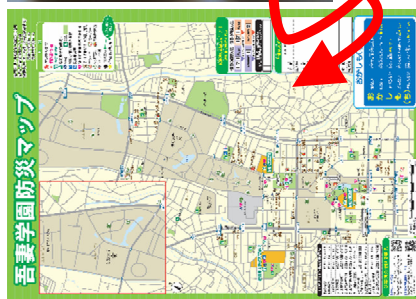
子ども版



大人版



開いた内側は
防災マップ



防災マップの使い方（基本的な使い方）

以下の内容を子どもが書き入れます。

- ・自宅の位置、災害時の待ち合わせ場所（マークはマップ右下凡例参照！）
- ・通学路

通学路の目印を書いて、地区内の自宅・待ち合わせ場所の位置関係を認識できるようにします。いつでも見て、書き込めるようにランドセルに入れて携行しましょう。

吾妻学園防災マップ



2

手帳作成の目的

- ・手帳とマップを家族で読むこと、眺めることで、地域、学校、家庭のそれぞれで災害や事故から身を守ることを考えます。
- ・地域の人たちが、子ども達は防災手帳を携行していることを知り、もしもの時にそれぞれの子どもの対応を促します。

使用上の注意

- ・子どもも大人も、まずは自分の身を守ることを考えましょう。
- ・災害時に必要な情報は各家庭で異なります。家族みんなでよく読み、話し合いながら、必要な情報を書き込み、オリジナルの防災手帳にしましょう。
- ・書き込んだ情報は、定期的に見直しましょう。

4

学校防災手帳について

「学校防災手帳」は茨城県教育庁の「地域と学校が連携した防災教育モデル事業」の指定（平成26年度）を受けた吾妻小学校（吾妻学園）の成果を保護者（吾妻学園おやじの会）が中心となり取りまとめ「いざという時、大人にも子どもにも役立つもの」として企画・編集されたものです。現在、これを参考に、市内の他の学校へ展開が進んでいます。

携帯のアイデア

- いつでも見て、書き込めるように、
- ・子どもは、ランドセルに入れておきましょう。
- ・保護者は、ファスナーケース等に鉛筆とともに入れておきましょう。



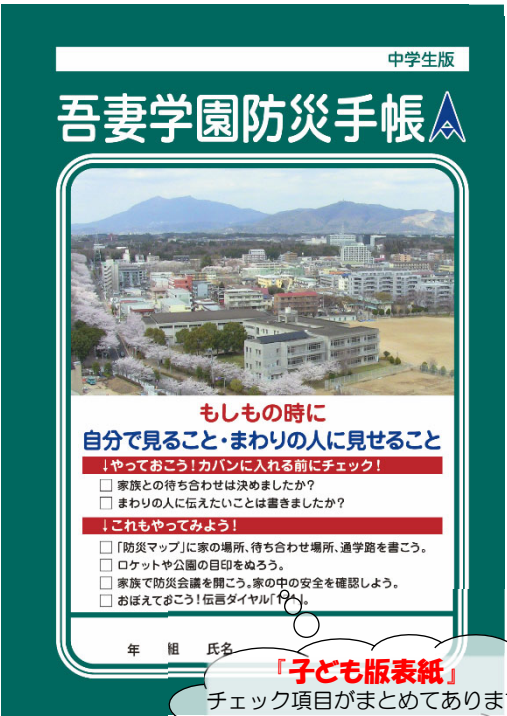
学校防災手帳の使い方（基本的な使い方）
子ども版

- 家族と一緒に読みましょう。災害が起きた時に子どもが、「自分で確認すること」、「まわりの大人に知ってもらうこと」、の手帳の構成と記載内容を把握しましょう。
- 「引き渡し」について、誰が、どの順番で来るのか（兄弟姉妹がいる場合）を確認し、どのくらい待つか理解しましょう。
- 「待ち合わせ」は、災害発生時の時間帯別に適切な場所を考えましょう。
- 「まわりの人に伝えたいこと」は、大人の目線で、子どもの安全を考えた時に必要なことを記入しましょう。

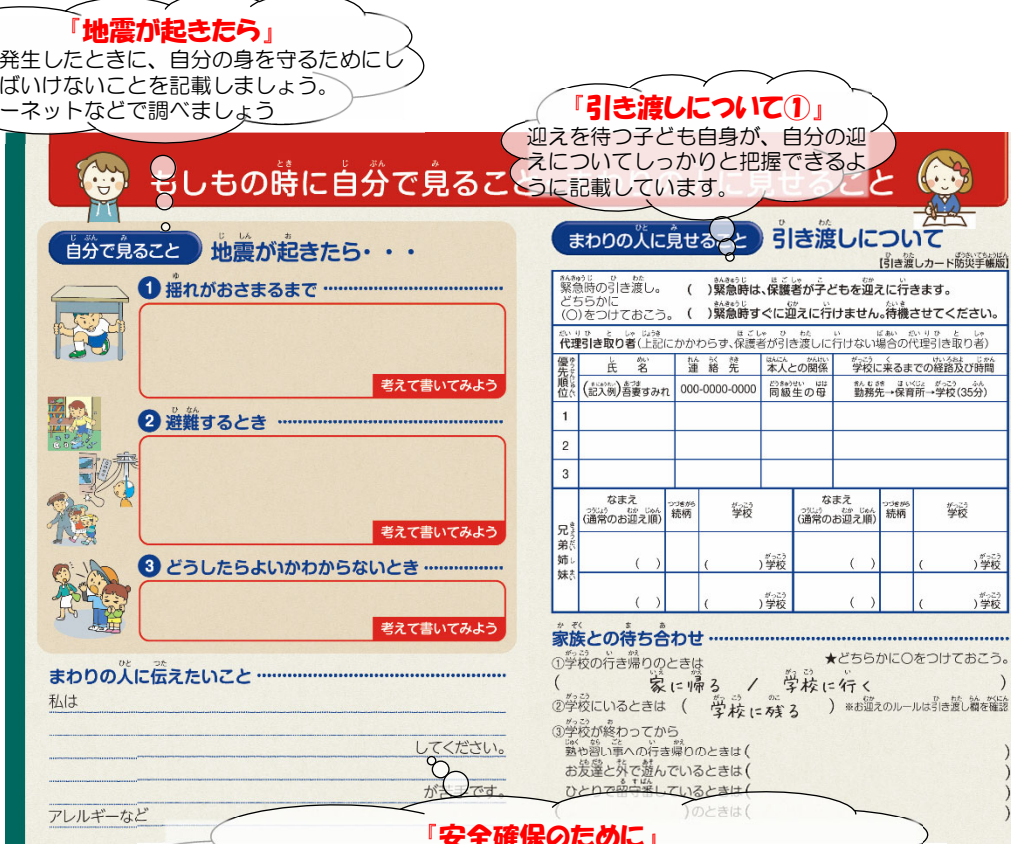
例）健康のこと・・・アレルギーがある、薬を服用中、など。
家族の約束事・・・〇〇さんの家で待たせてもらうこと。

- まず、災害発生時の「イメージトレーニング」を始めましょう。
- 情報の収集方法を裏面防災マップ「災害時の情報収集先」で確認しましょう。
- 子どもたちの引き渡しについて、確認しましょう。小・中学校両方にお子さんがいる家庭は、引き渡しの順番に注意しましょう。
- 必ずしも「災害発生→避難所へ」とは限りません。災害の状況を踏まえて判断しましょう。

例）地震後は自宅に異状が無ければ、在宅避難
備えは大丈夫ですか？新しい住宅では、避難所に行くよりも自宅で過ごすことを考える方が現実的です。それぞれの家庭に合わせ、備蓄するものの種類、数を考えましょう。



もしもの時に
自分で見ること・まわりの人に見せること
「子ども版表紙」
チェック項目がまとめてあります。
使い方をご家庭で確認しておきましょう。



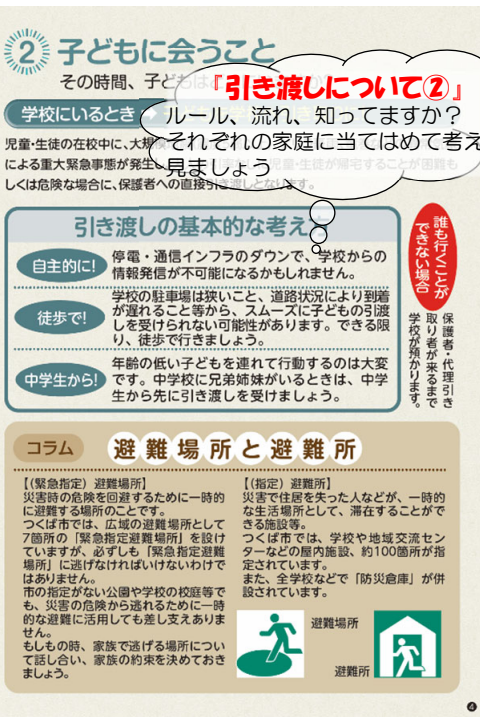
「地震が起きたら」
地震が発生したときに、自分の身を守るためにしなければいけないことを記載しましょう。
インターネットなどで調べましょう
「引き渡しについて①」
迎えを待つ子ども自身が、自分の迎えについてしっかりと把握できるように記載しています。
「安全確保のために」
お子さんの健康のことなど、まわりの人に伝えたいことなどを書きましょう！
また、家族防災会議を開き、お子さんとの約束事を決めて書いておきましょう。



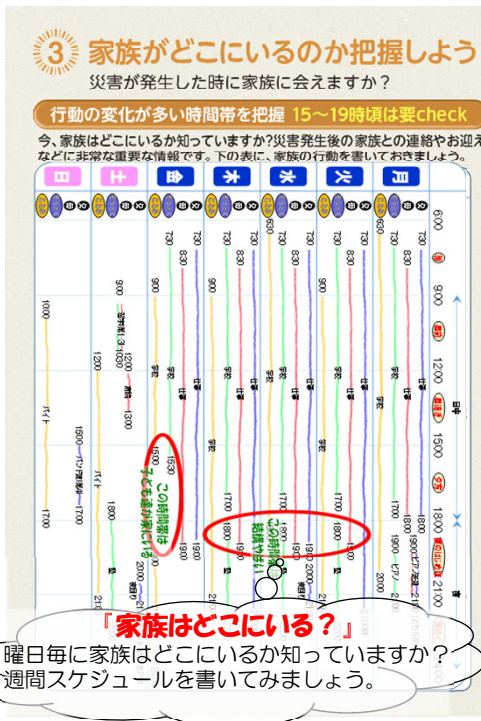
「情報は随時見直し！」
記入した日をチェック！
定期的に見直ししましょう。



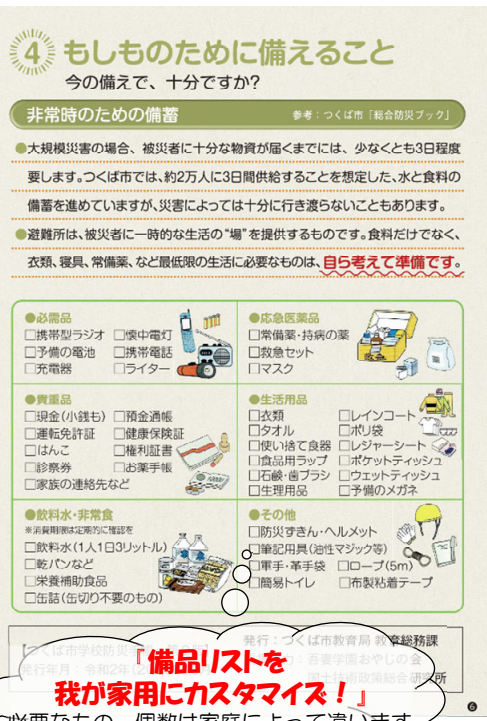
「まずイメージトレーニング！」
心の準備
災害発生後、もしも頃か？
災害時のイメージトレーニング
1 「情報を集めること」へ！
2 「子どもに会うこと」へ！
3 「家族がどこにいるのか把握しよう」へ！
4 「もしものために備えること」へ！



「子どもに会うこと」
その時間、子どもは「引き渡しについて②」
ルール、流れ、知っていますか？
「家族がどこにいるのか把握しよう」
災害が発生した時に家族に会えますか？
行動の変化が多い時間帯を把握 15～19時頃是要check



「家族はどこにいる？」
曜日毎に家族はどこにいるか知っていますか？
週間スケジュールを書いてみましょう。



「備品リストを我が家用にカスタマイズ！」
必要なもの、個数は家庭によって違います。
いつもの生活を振り返って考えましょう。